



フォシーガ錠10mgのオーダについて

SGLT2阻害薬である、フォシーガ錠10mgが新たに採用となりました。フォシーガ錠はこれまでのSGLT2阻害薬にはなかった心不全の適応を有しているため、安全に使用するため以下のようにオーダ上の名称を分けることとなりました。使用する適応症に応じて選択するようにお願いします。

- ・【糖尿病】フォシーガ錠10mg
- ・【心不全】フォシーガ錠10mg

SGLT2阻害薬適正使用に関する recommendationの要点（抜粋）

- 75歳以上の高齢者あるいは65歳から74歳で老年症候群（サルコペニア、認知機能低下、ADL低下など）のある場合は慎重に投与する。
- 脱水防止については患者への説明も含めて十分に対策を講じること。利尿薬の併用の場合には特に脱水に注意する。
- 発熱、下痢、嘔吐などがあるときないし食思不振で食事が十分に摂れないような場合は必ず休薬する。
- 本剤投与後、薬疹を疑わせる紅斑などの皮膚症状が認められた場合は速やかに投与を中止し適切な対応を取ること。また、外陰部と会陰部の壊死性筋膜炎（フルニエ壊疽）を疑わせる症状にも注意する。
- 尿路感染・性器感染については、適宜問診・検査を行って、発見に努めること。

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。

(文責：西田)